

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英会話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎801教室
担 当 教 員	Kevin Ryujiin	実務経験と その関連資格	英語教授法資格(TESOL)取得、25年以上の英語教授経験と医学基礎知識有り			
《授業科目における学習内容》						
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
MEC 医療英語コミュニケーション(医療福祉英語検定協会 SWEET)						
《授業外における学習方法》						
それぞれのチャプターには英語のダイアログがあり、教科書の後ろのページには日本語訳と用語集も載っているので、授業前に読んでくるようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
現在、企業の種類に関わらず、英語力のある人が求められていると思います。診療放射線技師を目指す場合、患者様は日本人のみとは限らないのではない						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.6-7を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	チャプター1.1(pp.6-7) 受付①・MECプレテスト			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.7-8を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	チャプター1.1(pp.7-8) 受付①・MECプレテスト			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.8-9を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	チャプター1.2(pp8-9) 受付②;医療分野の種類			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.9-10を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	チャプター1.2(pp9-10) 受付②;医療分野の種類			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院内を案内できるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.12-14を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	チャプター2(pp12-14) 病院内:各科への行き方、案内の仕方("where", "what", 前置詞) 症状と診療科の種類			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院内を案内できるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書P.15-17を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター2(pp15-17) 病院案内:各科への行き方、案内の仕方("where", "what",前置詞) 症状と診療科の種類		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	体の部位を学び、痛み(症状)を説明できるようになる。	医療英語コミュニケーション	教科書P.18-20を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター3(pp.18-20) 体の部位、痛みの表現 現在完了形を使用した期間の表現		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	体の部位を学び、痛み(症状)を説明できるようになる。	医療英語コミュニケーション	教科書P.20-22を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター3(pp.20-22) 体の部位、痛みの表現 現在完了形を使用した期間の表現		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に聴取し、情報収集できるコミュニケーションを学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.24-25を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター4.1 (pp.24-25) 基本的な症状の表現("I have (a)..." , "I feel", "I am", "...feels..." , "...hurts")		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に聴取し、情報収集できるコミュニケーションを学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.25-26を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター4.1 (pp.25-26) 基本的な症状の表現("I have (a)..." , "I feel", "I am", "...feels..." , "...hurts")		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に把握するためのコミュニケーションを学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.26-27を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター4.2 (pp.26-27) 症状の問診		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に把握するためのコミュニケーションを学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.27-28を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター4.2 (pp.27-28) 症状の問診		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	チャプター1-2の復習	医療英語コミュニケーション	チャプター1-2の復習を行う
		各コマにおける授業予定	チャプター1-2の復習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	チャプター3-4の復習	医療英語コミュニケーション	チャプター3-4の復習を行う
		各コマにおける授業予定	チャプター3-4の復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.30-32を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター5.1 (pp.30-32) 問診(1)-① 患者に症状、家族歴、既往歴を尋ねる(現在完了形)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英会話	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎801教室
担 当 教 員	Kevin Ryuji	実務経験とその関連資格	英語教授法資格(TESOL)取得、25年以上の英語教授経験と医学基礎知識有り		

《授業科目における学習内容》

主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)
出席点(20%)
平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

MEC 医療英語コミュニケーション(医療福祉英語検定協会 SWEET)

《授業外における学習方法》

それぞれのチャプターには英語のダイアログがあり、教科書の後ろのページには日本語訳と用語集も載っているので、授業前に読んでくるようにしてください。

《履修に当たっての留意点》

現在、企業の種類に関わらず、英語力のある人が求められていると思います。診療放射線技師を目指す場合、患者様は日本人のみとは限らないのではない

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標 問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.31-32を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	チャプター5.1(pp.30-32)問診(1)-① 患者に症状、家族歴、既往歴を尋ねる(現在完了形)		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標 問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.32-33を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	チャプター5.2(pp.32-33)問診(1)-② (前回の続き)病状の継続期間を表す表現		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標 問診時に使用する重要英語表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.33-34を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	チャプター5.2(pp.33-34)問診(1)-② (前回の続き)病状の継続期間を表す表現		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標 アレルギーの有無や生活習慣、嗜好品についてたずねる問診表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.36-38を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	チャプター6.1(pp.36-38) 問診(2)-① 生活習慣についての質問、頻度の表現を使つての薬の処方		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標 アレルギーの有無や生活習慣、嗜好品についてたずねる問診表現を習得する	医療英語コミュニケーション	教科書P.38-39を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	チャプター6.1(pp.38-39) 問診(2)-① 生活習慣についての質問、頻度の表現を使つての薬の処方		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器の名称を学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.39-40を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター6.2(pp.39-40) 臓器の名称		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器の名称を学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.40-41を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター6.2(pp.40-41)臓器の名称		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診しながら患者に身体測定の方法を説明できるようにする	医療英語コミュニケーション	教科書P.42-43を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター7(pp.42-43) 身体測定・診察時の表現、患者への丁寧な説明方法		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診しながら患者に身体測定の方法を説明できるようにする	医療英語コミュニケーション	教科書P.44-45を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター7(pp.44-45) 身体測定・診察時の表現、患者への丁寧な説明方法		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の名称を学び、整形外科に関連する症状などについて学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.66-68を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター12(pp.66-68) 検査時の患者への説明方法		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の名称を学び、整形外科に関連する症状などについて学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.66-68を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター12(pp.66-68) 検査時の患者への説明方法		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の名称を学び、整形外科に関連する症状などについて学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.69-70を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター15(pp.69-70) 検査時の患者への説明方法		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の名称を学び、整形外科に関連する症状などについて学ぶ	医療英語コミュニケーション	教科書P.69-70を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	チャプター15(pp.69-70) 検査時の患者への説明方法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	今までの総復習	医療英語コミュニケーション	これまでの復習を行う
		各コマにおける授業予定	試験に向けての復習:チャプター1-4、MECポストテスト		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	今までの総復習	医療英語コミュニケーション	これまでの復習を行う
		各コマにおける授業予定	試験に向けての復習:チャプター4-7,15、MECポストテスト		